

## 令和3年度における重点的な取組課題について

### 1 コロナ禍における学校教育の充実

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、市立学校においても臨時休校を余儀なくされた。学校の再開後も感染予防対策の徹底に加え、学校の新しい生活様式に対応した形で教育活動を行わなければならない状況にある。

一方で、国が打ち出したGIGAスクール構想に基づき、タブレット端末の導入など、学校教育のICT化の推進が求められている。

これらを踏まえ、今後、コロナ禍の学校においても、ICT機器の効果的な活用等により子どもの学びを支える、新たな教育の形をつくっていく必要がある。

【目標1】志を持ち「徳・知・体」の調和がとれた子どもをはぐくむ学校教育の充実

施策の方向性2 確かな学力の育成

施策の方向性3 健やかな心と体の育成

施策の方向性6 今日的な課題に対応した教育の充実

施策の方向性7 教育の質を高める体制の充実

【目標2】将来にわたり安全安心で快適な学校教育環境の整備

施策の方向性1 良好な学校教育環境の整備

### 2 学校適正配置に関する協議の進捗状況

少子化の進展により将来の児童生徒数が減少しても、本市の子どもたちが自立と共生の力をはぐくむことができる良好な教育環境を確保するため、秋田市小・中学校適正配置基本方針に基づき、将来の望ましい学校のあり方について、地域との協議を行っている。

【目標2】将来にわたり安全安心で快適な学校教育環境の整備

施策の方向性1 良好な学校教育環境の整備